

# 神仏習合の里散策マップ 宇佐神宮周辺



**15 史跡公園宇佐風土記の丘 県立歴史博物館**

約20haの宇佐風土記の丘は国指定史跡の前方後円墳群を中心にした公園です。その中にある博物館では、宇佐・国東半島をはじめとする県下の歴史と文化財を展示しています。

浄土真宗本願寺派。昭和の大造営により宇佐宮境内から現在地に移転。本尊の阿弥陀如来立像は宇佐宮境内の大式堂(太宰府の次官が寄進、現・絵馬殿付近)より、丈六の弥勒大仏は弥勒寺の講堂から移されました。

高野山真言宗。宇佐宮大宮司の到津氏が1333年に到津家の菩提寺と後醍醐天皇の勅願寺として創建。本堂には弥勒・脇侍・四天王の諸像が7体揃って安置されており、全てが国の重要文化財に指定されているのは県内ではこのお寺だけです。

県内最古(鎌倉時代)の臨濟宗寺院。開祖の神子崇尊は宇佐宮境内にあった弥勒寺の復興に尽力した為、宇佐宮はこのお寺を神宮寺としました。円通寺の参道の延長上に宇佐神宮の表参道があるのも、両者の密接な関係(神仏習合)を物語っています。

6世紀末頃に造られた古墳の石室。8世紀に起きた放生会に関する伝承では、隼人の首を埋めた塚とされています。

奈良時代の南九州での反乱の際、宇佐八幡神が神軍を率いて鎮圧した、大隅日向の隼人の御霊を祀る古社です。現行の仲秋祭では、宇佐神宮の宮司が拜礼を行います。

**化粧井戸**

宇佐神宮がある盆地は、「宮中(くうちゅう)」と呼ばれる聖域でした。その入り口に設けられた清めの井戸と考えられます。放生会では傀儡(くづ)人形を洗ったとされています。

呉橋からまっすぐ西にのびる道は、勅使道と呼ばれました。即位奉告や国家の大事に際しては、宇佐宮に天皇の意思を伝える勅使が遣わされました。道沿いには百体神社などがあります。

曹洞宗。禅堂の薬師如来坐像(国指定重要文化財)は、明治時代の神仏分離により宇佐宮の弥勒寺の金堂から移されました。他にも日光・月光菩薩等が伝えられています。

**宇佐神宮の情報**

宇佐神宮 (境内無料)  
開門時間 4月~9月 5:30~19:00  
10月~3月 6:00~19:00  
宝物館 (大人300円、中・高校生200円、小学生100円)  
営業時間 9:00~16:00  
開館日 土曜・日曜・祝日

**八幡駐車場 (有料) [200台]**

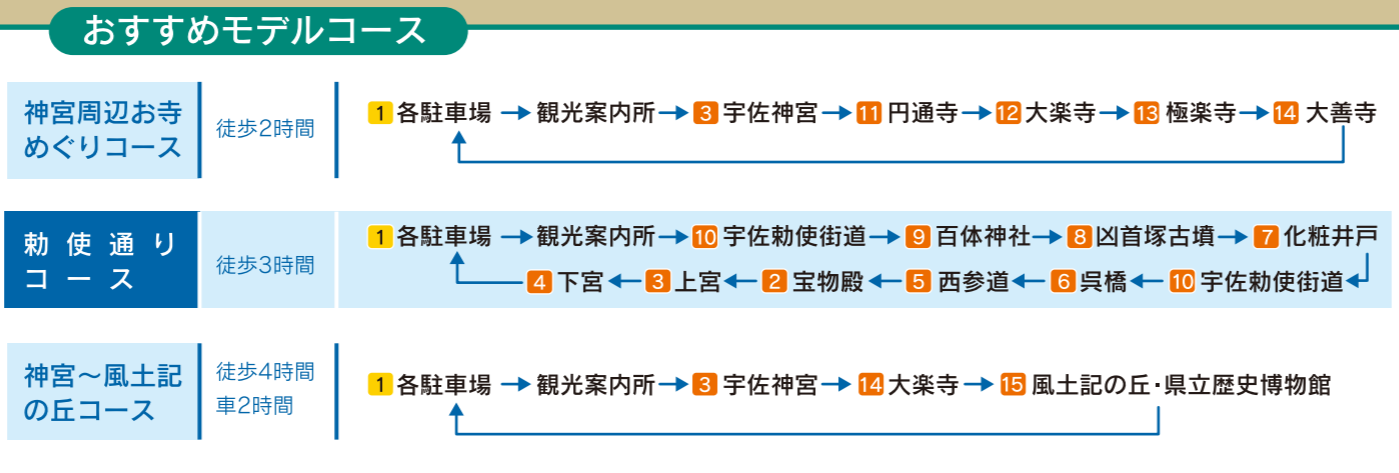
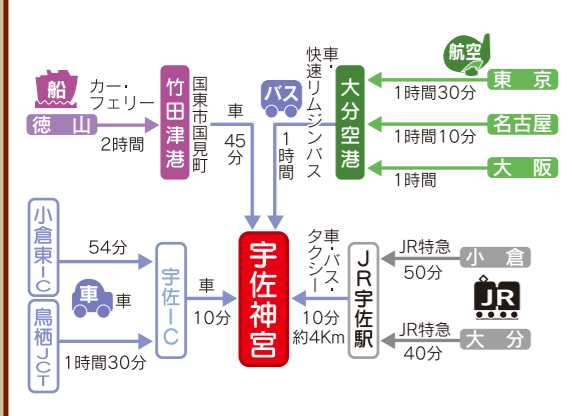
大型・中型車 各1,500円  
マイクロバス 1,000円  
普通車 400円  
二輪車 100円

**表参道駐車場 (有料) [130台]**

普通車 400円

**外苑駐車場 (有料) [150台]**

普通車 300円



**宇佐市観光ガイド(要予約)**

研修を重ねたガイドが宇佐市の歴史と文化を詳しく案内してくれます。本紙には載っていないおもしろスポットにも案内してくれるかもしれません。

ガイド料 2時間以内 3,000円~ (20名以内) 2時間以上 5,000円~

お問い合わせ 宇佐市観光協会 TEL 0978-37-0202

**\*観光のお問い合わせ\***

宇佐市観光協会 宇佐部会  
TEL 0978-37-0202  
宇佐市 観光・ブランド課  
TEL 0978-27-8171  
宇佐神宮  
TEL 0978-37-0001



# 国宝 宇佐神宮

うさじんぐら 神仏習合の里散策マップ



宇佐神宮本殿

一之御殿、二之御殿、三之御殿の三棟が横に並び、本殿を横から見ると屋根がM字に見える八幡造という古い神社形式を今に伝えており、国宝に指定されています。



宇佐神宮ホームページ



東

## 主な祭り

**御神幸祭** 7月31日、8月1日、8月2日

宇佐夏越祭りの名前で知られており、3基の神輿が初日は上宮から頓宮へ(お下り)、最終日は頓宮から上宮(お上り)と繰り返す勇壮華麗な祭りです。

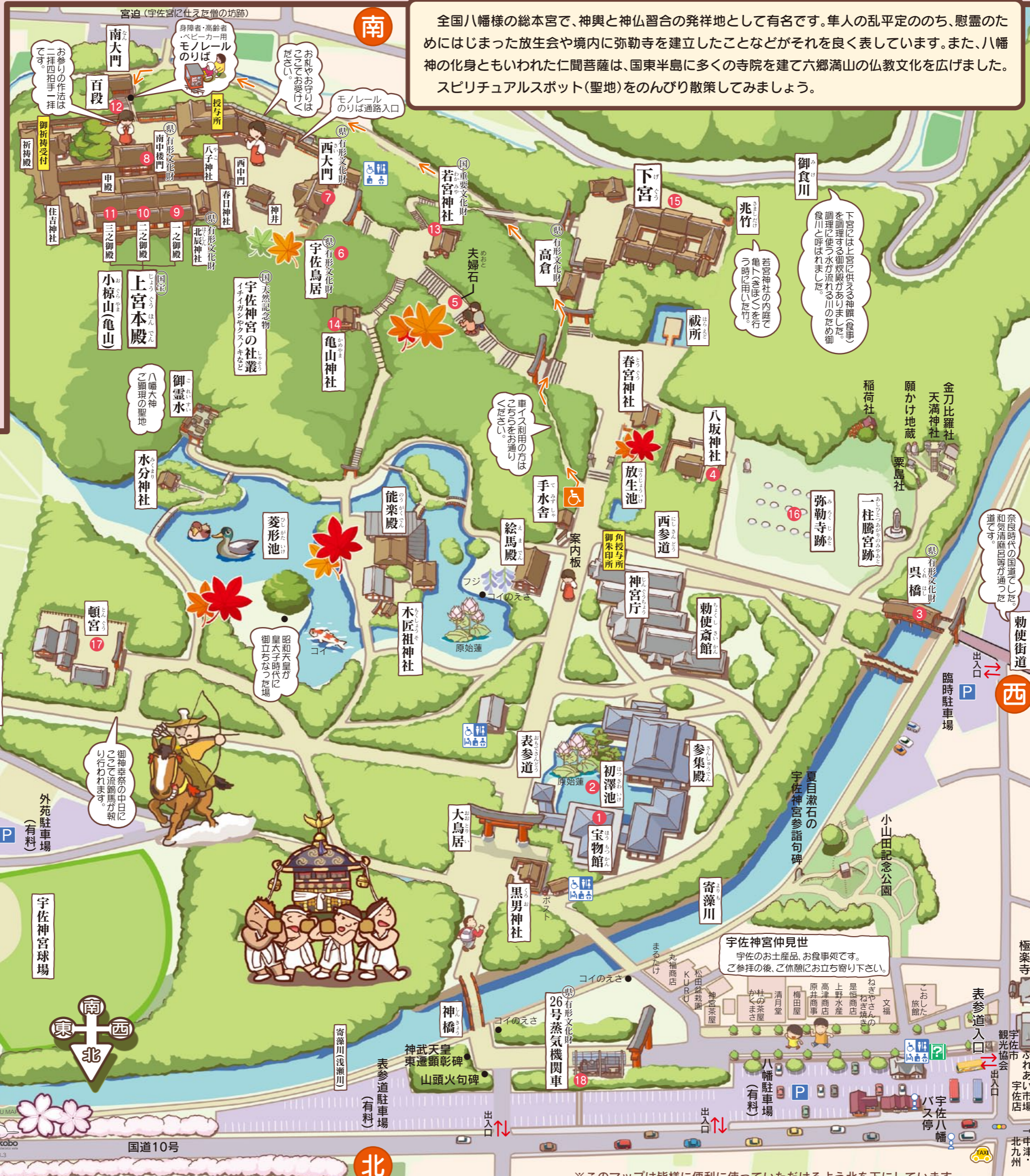
期間中は流鏝馬神事をはじめ、様々なイベントや花火大会が開催され、大いに盛り上がります。



**仲秋祭** 10月第2月曜日を含む土・日・月曜日

放生会とも呼ばれ、神仏習合文化を伝える宇佐神宮最古の祭礼。八幡神は南九州の隼人の反乱を鎮圧しました。その後、病気が流行り凶作が続いたことから隼人の霊の祟りだと恐れられます。そこで、この霊を慰めるため和間の浜に鰯を流したのが放生会の始まりです。

全国八幡様の総本宮で、神輿と神仏習合の発祥地として有名です。隼人の乱平定ののち、慰霊のためにはじまった放生会や境内に弥勒寺を建立したことなどがそれを良く表しています。また、八幡神の化身ともいわれた仁聞菩薩は、国東半島に多くの寺院を建て六郷満山の仏教文化を広げました。スピリチュアルスポット(聖地)をのんびり散策してみましょう。



- 1 宝物館**  
国宝の孔雀文器をはじめ、宇佐神宮や弥勒寺にまつわる貴重な文化財を展示しています。
- 2 初澤池**  
奈良の鏡沢の池、京都の広沢の池とともに日本三沢の池と呼ばれています。夏には美しい原色ハスが咲きます。
- 3 呉橋**  
境内にある社殿同様の檜皮葺きで、唐破風の屋根に覆われた豪華な橋であり、県の有形文化財に指定されています。かつては弥勒寺の仁王門へとつづく橋でした。10年に一度の勅使祭のときだけ扉が開かれます。
- 4 八坂神社**  
弥勒寺跡にあり、須佐之男命を祀っています。毎年2月13日に行われている鎮夜祭は御心経会と呼ばれ、僧侶も奉仕する神仏習合の祭礼です。
- 5 夫婦石**  
1人の方は両足で、夫婦やカップルの方は手をつないで一緒に踏むと幸せになれるといわれています。
- 6 宇佐鳥居**  
宇佐神宮独特の鳥居で額や額装が無く、柱の上部に黒い台輪が置かれているのが特徴です。上宮手前の鳥居は木製で県指定有形文化財にも指定されており、境内の鳥居はこの様式になっています。
- 7 西大門**  
熊山文化の華麗な唐破風の門で、本殿や勅使門とともに宇佐神宮を代表する建造物の一つです。
- 8 南中楼門(勅使門)**  
皇族や勅使が通る門で、宇佐神宮を象徴する建造物の一つです。県指定有形文化財に指定されています。
- 9 一之御殿**  
725年に八幡大神(応神天皇)が祀られました。
- 10 二之御殿**  
733年に比売大神(多岐津姫命、市村嶋姫命、多紀理姫命)が祀られました。
- 11 三之御殿**  
823年に応神天皇の母である神功皇后が祀られました。
- 12 百段**  
人食い鬼の力と八幡大神の知恵が衝突したという伝説の石段です。
- 13 若宮神社**  
八幡神(応神天皇)の若宮の仁徳天皇と4人の皇子を祀っています。
- 14 亀山神社**  
上宮のある小椋山(別名:亀山)の山神を祀っている神社です。
- 15 下宮**  
御祭神は上宮と同じ。古くは御炊殿(みけでん)といわれ、神へ捧げる食事を調理する場でもありました。創建は810年~824年とされ、農業と関係が深いといわれています。近くには米竹(さまだけ)が生えています。これは、かつて占いの際に使われていた竹と伝えられています。
- 16 弥勒寺跡**  
738年に境内に建立された神仏習合文化発祥の壮大なお寺の跡。国東半島の六郷満山文化に大きな影響を与えました。明治時代の神仏分離により廃寺になりました。かつてここで安置されていた薬師如来坐像は、現在では近くの大善寺に安置されており、国の重要文化財です。
- 17 頓宮**  
夏越祭の時に、神は神輿のり、御旅所である頓宮へ2泊3日の間滞在します。
- 18 26号蒸気機関車(クラウド号)**  
県指定有形文化財。明治24年のドイツ製で、宇佐駅と宇佐神宮を結ぶ宇佐参宮鉄道の主役として昭和40年まで活躍しました。JR九州の至宝ともいえる文化財です。

※このマップは皆様に便利に使っていただけるよう北を下にしています。